

ドライブレコーダー

KH-M9200R

取扱説明書



Ver1.00

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

- 本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し必要に応じてご利用ください。
- 保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。
- 写真及びイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。
- 本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

目次

・はじめにP1
・安全上のご注意P2
・本製品についてP5
1. 本体各部名称・機能P6
本体の各部名称・機能	
2. 本体の準備および接続P7
各種準備、接続についてまとめてあります。	
3. 使用方法P11
(録画/再生)	
4. 各種メニュー設定項目についてP12
5. 注意すべき内容P14
6. 主な仕様P16
7. 故障かな?と思ったらP17

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。
また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。
※レンズ部には保護フィルムが装着されているので、赤いタグを持ちはがしてください。

- 本体 ×1
- microSDカード[※] ×1
- 車載用シガー電源アダプター ×1
- 取扱説明書 ×1
- リアカメラ ×1
- 本体固定バンド ×2



本体



シガー電源アダプター



リアカメラ



取付ステー



microSDカード[※]






取扱説明書

※：本体には挿入されておりません。
取扱説明書に貼り付けてあります。




安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。



使用するとき

● 運転中は本製品を操作したり、本製品の液晶画面は見ないでください。



● 運転操作に支障がない場所に本製品の取付や電源コードの設置を行なってください。



● シガー電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してから抜くこと



● 高温になる場所で長時間放置及び使用しない



事故の原因となります。運転中は液晶画面をオフにしてください。本製品を操作する場合は、安全な場所に停車してから行ってください。

設置場所は運転の視界のさまたげにならないか確認してください。電源コードがハンドル等に絡まないよう、配線の取り回しを行なってください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店またはサポートセンターにご相談ください。

直射日光の当たる場所・閉め切った車内、ストーブのそばなどに放置しないでください。火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。ご使用後は取り外し日陰などのところで保管してください。

使用するとき

- 修理・分解・改造しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

- 内部に異物を入れないこと



異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。

- 水に濡らしたりしないこと



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないでください。

- 液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと



禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。



警告

設置するとき

- フロントガラスの上部20%、ルームミラーの以外のところには取り付けないこと



禁止

ルームミラーに専用の取り付けバンドでしっかり固定させます。しっかり固定させないと本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

※取付は、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されます。

運転者の視界の妨げにならないように、ルームミラーに取付してください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。

※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付してください。

シガーアダプターについて

- シガーアダプターを 分解、改造、修理しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。

- シガーアダプターは付属のものを
使用すること



禁止

指定以外のシガーアダプターを使用すると、
火災・故障の原因となります。

- アダプターのコードは傷付けたり、
加工したり、加熱したりしないこと
- ・引張ったり、重いものをのせたり、は
さんだりしないこと
- ・無理に曲げたりねじったり束ねたり
しないこと



指示

火災・感電の原因となります。

- シガーアダプターはDC12V～24V
対応です。電源変換器は使用しな
いこと



禁止

電圧変換器 (DC-DCコンバータ) を使用す
ると故障の原因になることがありますので
ご使用にはならないください。

- シガーソケット内の汚れを取り除く



指示

シガーソケット内に汚れが付着している
場合は、製品動作が不安定になる場合が
あります。

- ぬれた手でアダプターを抜き差し
しないこと



指示

感電の原因となります。

- シガーアダプターをシガーソケット
から抜くときは、コードを引っ張って
抜かないこと



指示

コードを引っ張って抜くと、コードやアダプター
が傷つき、火災・感電の原因となります。アダプ
ター本体を持って真っ直ぐ抜いてください。

本製品について

- ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。
- すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機の録画映像は事故等の証拠として効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用によって生じた損害、記録された映像やデータの消失・損傷・破損による損害については弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画・撮影した映像は使用方法によっては非撮影者の肖像権・著作権・プライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが弊社は一切の責任を負いません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の認識ができない場合があります、そのような場合は前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切の責任を負いません。
- 運転者は走行中液晶画面等注視したり、機能操作はしないでください。走行中は画面をオフにしてください。本機を操作する場合は安全な場所に停車させてから行ってください。
- 静電気や電気ノイズ、水に濡らしたりした場合、長期間使用しなかった場合など撮影されたデータが破損する恐れがあります。
- 本機を取り付け時に、ノイズ等で他の車載製品に影響が生じた場合は、対象の機器と本機をできるだけ離して設置してください。

《内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて》

- 炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。
- 鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

※炎天下の車内や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。

ご使用後は取外して、日陰などの場所で保管してください。

1: 本体各部名称・機能

本体各部の名称



※画像が実物と異なる場合があります。

- ①. 可動レンズ部
※説明図は格納時、ミラー部設置時には可動する必要があります。
- ②. 電源端子
※付属の専用DCシガーアダプター専用
- ③. リアカメラ端子
※付属のリアカメラ専用
- ④. microSDカード挿入口
※ご使用にあたり同梱のmicroSDカードを挿入する必要があります。
- ⑤. タッチセンサー方式モニターミラー部
- ⑥. 電源ボタン
- ⑦. リセットボタン

2: 本体の準備および接続

microSDカードの装着

本製品には、microSDカードが1枚付属されています。

動画や静止画を撮影するためのものです、各機能の設定後電源がオフの状態でご本品にmicroSDカードを装着してからご使用ください。

また、市販のmicroSDカードをご使用するときは8GB～32GB(Class10以上)のものをご用意ください。

※本体には挿入されておりません。本書(取扱説明書)に貼り付けてあります。

※付属のmicroSDカードは、本機でフォーマットしてから使用してください。

※市販のmicroSDカードを使用する時は、フォーマット作業を行ってから使用してください。

microSDカードの向きに注意してカチッという音がするまでツメで押し込んで装着ください。



取り外す際は、ツメでカードをカチッと音がするまで押し込み指をはなします。カードが少し出てきますので、まっすぐ引き抜きます。

【留意事項】

- microSDカードを挿入する向きにご注意ください。間違った向きで無理やり押し込むと、本機およびmicroSDカードが破損する原因となります。
- microSDカードは消耗品です、定期的に新しい物と交換してください。
- microSDカードの性質上、書き込み回数など製品寿命があります。繰り返し書き込みをしていると、カードのメモリ内部に不良箇所が発生する場合がありますので、定期的にフォーマットをすることをおすすめいたします。
- すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。また、ごくまれに本機とSDカードの親和性不適合なものがあり、本機で正常に動作しない場合や、本機自体が突然に起動できなくなるなどの障害が発生する場合があります。

車両のルームミラーに、同梱の専用固定バンドを使用して取付けてください。道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されていますので、ルームミラー以外の視野の妨げになるような場所に設置しないでください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。

※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

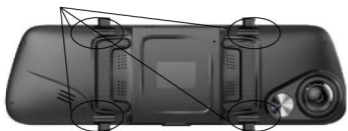
※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、搭載する車両の説明書に従い取付してください。

※車両の安全運行装置に異常をきたす場合には、本機の使用を直ちに中止してください。

取付方法

本体のクリップ部に同梱の専用取り付けバンドを装着し、ルームミラーを挟み込むように、2本取り付けてください。

本体クリップ部



専用本体固定バンド
(2本同梱)



※本機を取り付けるルームミラーが大型の場合専用固定バンドに過剰な負荷がかかり、ゴム強度が早急に劣化する場合があります。

※無理な取り付けにより、運転中に落下すると、大事故に繋がる恐れがありますので、十分に確認したうえで、ご使用ください。

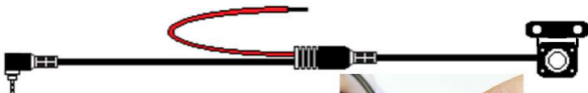
ルームミラーに取り付ける際に、本体背面の可動式レンズ部をクリックオンがするまで、下げてください。本機のカメラレンズの位置が下部に飛び出した状態でないと、正常な撮影状態になりません。



■リアカメラ接続方法

リアカメラを本体に接続します。

- ① 本体上部にあるリアカメラ専用ポートに、付属のリアカメラを接続します。この状態で電源を入れたら、液晶モニターにリアカメラの映像が表示されるようになります。



- ※リアカメラにある赤ケーブルはリバース信号取得用の端子ケーブルです。信号を検出すると、自動的にリア画像に切り替えて表示します。
※接続にあたっては、車両販売店かカー用品専門店にご相談ください。
※リバース信号検出ケーブルはご使用いただかなくても本機の機能に影響はありません。



リアカメラ専用ポート

- ② 運転操作に支障をきたさないよう、カメラコードの取り回しは注意して行なってください。

- ※リアカメラを取り付ける位置を決め、汚れ、油分を拭き取りして、確実に粘着シールでカメラが固着されるようにしてください。

- ③ リアカメラの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。自動的に本体の電源がオンになり、画面が表示され自動的に録画が開始されますが、本体モニター画面をタッチすると、フロント/リアカメラを切り替えることができます。



- 同梱のリアカメラは本ドライブレコーダー専用です。他の機器に接続しないでください。故障の原因になります。
- 本製品は車内取付け専用です。防水仕様ではありませんので、車外には取付けしないでください。
- ルームランプ等を点灯し車内を明るくすると外の映像が見にくくなることがあります。その際は、ルームランプ等を消して室内を暗くしてください。
- 走行中でも、本体のモニター画面をタッチすることで後方確認できますが、走行中は直視しないでください。事故の原因になります。
- 本製品は後方撮影用のカメラであり、ドライバーの後方視界を補助し、すべての障害物、危険物をカメラで映し出せるものではありません。また広角レンズを使用しており、実際の距離と遠近感が異なります。バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。

電源接続および起動/終了方法

シガー電源アダプターを本体に接続します。

- ① 本体側面にあるminiUSBポートに、付属のシガー電源アダプターを接続します。
- ② 運転操作に支障をきたさないよう、電源コードの取り回しには注意して行ってください。
- ③ 車両側のシガーソケットへの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。
- ④ 自動的に本体の電源がオンになり、起動画面が表示された後、録画画面に切り替わり、録画を開始します。

※ご購入時、または長時間使用していなかった場合、日時がリセットされている場合があります。その際は時間設定してから使用してください。

- ⑤ エンジンをストップして、シガーソケットからの電源が遮断されると、本体の電源は自動的にオフになります。

※一部車種では、エンジンをストップしてもシガーソケットに通電したままの車種もあります。その場合は、シガーソケットからシガー電源アダプターを抜いてください


※手で本体電源のオン/オフを行なう場合は、下部の電源ボタンを押してください。



3:使用方法

ご使用前に、録画/再生の各モードの設定をおこなってください。

■ドライブレコーダー使用時の各機能切り替え設定について

※本機の起動すると、動画録画状態からスタートします。再生モードへの移行や各種機能切り替え設定をおこなう場合には必ず録画を停止する必要があります。
その上で「ホーム」ボタンを押下で、下記のモードに切り替わります。



動画撮影モード状態の時「ホーム」ボタンをタッチすることで「基本メニュー画面」に移行できます。各モード画面から戻る場合にも「ホーム」ボタンをタッチで戻ることができます。

4:各種メニュー設定項目について

■基本設定メニュー項目

項目	選択項目	初期値	機能説明
液晶保護	オフ	○	本機で液晶保護を設定するとLCD画面をオフ状態に移行します。 ※録画中でもLCD画面オフに移行しますが、録画は継続されておりま
	30秒		
	60秒		
	120秒		
省エネ	オフ	○	本機で録画機能を使用していない場合に、省エネモードを設定するとオートパワーオフ状態移行します。
	3分		
	5分		
	10分		
フリッカー	フリッカー-1	○	本機をお使いの環境にあわせて、動画記録する際の周波数同期タイミングを設定することができます。 フリッカー-1: 50MHz/フリッカー-2: 60MHz
	フリッカー-2		
操作音	オフ		本機設定時の操作音を設定することができます。 ※音量を変更することはできません。
	オン	○	
言語選択	簡体中文		本機の表示言語を設定することができます。
	英語		
	日本語	○	
日付設定	年	○	日付を設定することができます。 設定方法各項目の「▲/▼」で数値を変更することができます。 設定が完了したら「OK」ボタンでが前画面に戻ります。
	月		
	日		
	時分		
フォーマット	OK		microSDカードをフォーマットする機能です。
	キャンセル		
工場出荷値	OK		本製品を工場出荷値に戻す機能です。
	キャンセル		
バージョン	XD-D22-225-V51231-191101		本製品のバージョンを確認することができます。

■基本設定メニュー項目

項目	選択項目	初期値	機能説明
解像度	1080P	○	動画撮影時の解像度を選択することができます。
	720P		
音声録音	オフ	○	音声録音モードを設定することができます。
	オン		
ループ録画	オフ		ループ録画の時間を設定することができます。
	1分	○	
	3分		
HDR	オフ		HDR(ハイダイナミックレンジ)モードの設定をすることができます。
	オン	○	
露出補正	プラスマイナス各3段階		撮影時の露出を設定することができます。
日付ラベル	オフ		録画データに日時を記録する機能です。
	オン	○	
Gセンサー	オフ		Gセンサーの感度を設定することができます。 ※Gセンサーに反応して録画されたファイルは上書き防止のロックが自動的にされます。
	低		
	中	○	
	高		

5: 注意すべき内容

- ①Gセンサーは、車体が衝撃を受けた時に、自動的に録画中のファイルを保護する機能です。Gセンサーの感度は高/中/低/オフから選択できます。Gセンサーの感度設定は衝撃の目安です。状況により動作を保証するものではありませんのでご了承ください。
- ②microSDカードに保存されたデータは基本設定モードのメニューで「フォーマット」をおこなうと、保護されているファイルも全て消去されますので注意してください。
- ③周波数を変更しても、LED式信号機を撮影した場合。信号が点滅・消灯して映ることがあります。これはLED信号の同調によるもので故障ではありません。
- ④内蔵バッテリーは、本機にDCシガーアダプターを経由して電力が通電接続が成立した時点で自動的に充電されます。
- ⑤リセットスイッチは、本製品が動作しなくなったり誤作動を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細いもので押して、本体のシステムを再起動してください。リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。
- ⑥万一のデータ消失に備え、必要なデータはPCに保存することをお勧めします。
- ⑦本体の汚れ等は、軟らかい布で乾拭きしてください。水や洗剤、液体は使用しないでください。液晶画面は強く押しついたりしないでください、破損の原因となります。
- ⑧録画の場合はファイルがいっぱいになると、上書きを行います。必要なデータはPCなどへ保存してください。

⑨microSDカード内の構造とファイルの種類について



※ファイル形式はMOVファイルで、フロントとリアで名称が同じルールで書き込みされますが、格納されるフォルダで区別してください。

- ⑩Gセンサー検知時にロックされたファイルがいっぱいの場合、microSDカードに書き込みができません。

⑪ご購入時には、本機の内蔵バッテリー容量が低下している場合があります。ご使用の前に必ず、設定メニュー画面で「日付/時刻」設定をしていただきますよう、お願い申し上げます。

⑫本製品を車輻に取り付け後、十分な充電容量が確保されていない場合や長時間車輻を使用しなかった場合には、本機の内蔵バッテリーが内蔵時計の時間機能を保持できなくなる場合がありますので、設定メニュー画面で「日付/時刻」設定をしていただきますよう、お願い申し上げます。

⑬microSDカードは「読み出し・書き込み」を繰り返し頻繁におこなう必要があるドライブレコーダーとの組み合わせにおいて、microSDカード自体の半導体チップ内に不整合情報が蓄積されていくことがあります。そのような状態のSDカードを使い続けた場合、microSDカード自体の画像の記録保持機能だけでなく、ドライブレコーダー本体に対しても誤動作をとまなう障害を誘発してしまうことがあります。そのような場合は定期的にmicroSDカードをフォーマットしたり、別途市販のmicroSDカードに差し替えていただくことをおすすめいたします。

⑭本製品に同梱されているmicroSDカード以外に、市販のmicroSDカードをご使用になる場合には、クラス、容量の仕様の制約の他に、本機と親和性のない製品も存在します。すべての市販品との製品親和性組み合わせについては、追従できない場合もありますので、あらかじめご理解の上でご使用いただきますようお願い申し上げます。

6: 主な仕様

製品名称	フルサイズミラー型リアカメラ付きドライブレコーダー
品番	KH-M9200R
電源電圧	5V/2A(入力:DC12V~24V)
モニター	9.6型 液晶パネル(1280x320)
フロントカメラセンサー	200万画素
リアカメラセンサー	100万画素
記録媒体	microSDHCカード(クラス10以上推奨/容量8~32GB)
記録形式	動画: AVI
ループ録画機能	オフ/1分/3分/5分
Gセンサー	搭載
音声録音	オン/オフ
内蔵バッテリー	リチウム電池500mAh
外形寸法	本体: 264x42x205mm
重量	本体: 330g

※仕様(同梱物を含む)およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

7:故障かなと思ったら

状態	考えられる原因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・DCシガー電源アダプターが正しく装着されているか確認してください。 ・シガーソケット内が汚れていたりすると、正しく給電されない場合があります。清掃を行なってください。 ・内蔵バッテリーのみで動作させている場合、バッテリーが放電している可能性があります。電源を接続して使用してください。
撮影ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影可能枚数の解像度別の上限に達していないか確認してください。
カードエラーと表示する	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。 ・microSDカード内の記録映像等PCへ保存してから、フォーマットしてください。
カードがありませんと表示する	<ul style="list-style-type: none"> ・本機にmicroSDカードを挿入してください。
フォーマットカードが必要です	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードをフォーマットしてください。
ファイルがいっぱいです	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカード内のデータをPCへ保存して消去してから、再度本体に挿入してください。 ・Gセンサーにて検出された動画データはファイルがロックされます。ロックされたファイルは上書きされません。また本機からロックされたファイルは消去することはできないので、全ファイルをフォーマットするか、もしくはPCでロックされたファイルを削除してください。
動作しなかったり、誤作動を起こす	<ul style="list-style-type: none"> ・本体上部のリセットボタンを、先の細いもので押し本体を再起動させてください。

状態	考えられる原因
<p>既設の車載テレビの地デジ番組がワンセグしか視聴できなくなった。または視聴できなくなった。</p>	<p>電化製品は動作時に、その回路基盤からノイズを放出したり、他の機器からのノイズを受けることがあります。その影響は環境によりまちまちで、問題が発生する場合もあれば、全く影響を受けないこともあります。</p> <p>影響のある場合には以下の対応を試してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの機器を極力離して使用してみる。 ・アンテナの取り付け位置を変える。 ・市販の電磁波防止用のシートで、ノイズの発生元を遮断する。 ・ケーブル類にはノイズの伝送を低減することができる、フェライトコアなどを装着する。

商品お問い合わせ先

株式会社 カイホウジャパン

〒192-0906 東京都八王子市北野町 598-11

TEL: 042-631-5357 (サポートセンター) FAX: 042-631-5359

受付時間: 月～金曜日(祝祭日除く)10時～17時